

決 裁	議 長	局 長	参 事	次 長	主 幹	副主幹	書 記
		谷	徳		井上	山内	谷

別記様式

令和 元年 7 月 31 日

養父市議会議員 様

養父市議会議員 政次 悟 

研修成果報告書

養父市議会議員研修要綱第7条の規定により、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 研修日時
令和元年7月29日(月) から7月30日(火)
- 2 研修先
全国市町村国際文化研修所 (大津市唐崎2丁目13番1号)
- 3 研修目的
市町村議会議員研修1泊2日コース 「自治体予算を考える」

4 成果 (具体的に)

本研修は、関西学院大学の金崎教授を講師に、自治体予算の原則、歳入・歳出のチェックポイント、財政状況の把握として①財政診断、②地方公会計の活用と参加議員によるテーマごとのワークショップを行った。

私は、今日までの一般質問において財政関係(市民活動に向けた投資、まちづくりに対する投資)等の質問も行ってきたが、財政の詳細について幾分か勉強不足の点もあったが、本研修を受講し、提供を受けた資料や説明により疑問が晴れた感を持っている。

また、今後において本格導入が進みつつある公会計による決算処理についての関係書類(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)についての説明を受けたが、現在まで現金主義会計により事務処理を行ってきた官庁会



計には、減価償却費や各種の引当金科目がなかったことから特に保有資産額の把握、減価償却済額等の内容は正確さを欠くものであるのではないかと思っている。

参加者を班別分けして行われたワークショップについては、「公共施設の老朽化対策」を選択し、愛知県江南市、島根県奥出雲町、広島県北広島町、山口県長門市、香川県三豊市の議員と意見交換を行ったが、いずれの市町も複数のまちが合併し誕生していることから、公共施設については同一目的を持ったものが存在しており、少子・高齢化、人口減少の中にあつて公共施設の在り方は今後の市政運営における大きなテーマとなることが想定された。

いずれにしても、今回の研修は得るものも多く、自己研鑽にとっては有意義なものであったことから、今後の議員活動の中で生かしていきたいと考えている。